

性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議
こどもの性的搾取等に係る対策に関する関係府省連絡会議合同会議

2023年7月4日

野坂 祐子 NOSAKA Sachiko

- 大阪大学大学院 人間科学研究科 臨床教育学講座
教育心理学分野（専門：発達臨床心理学）教授
- 臨床心理士・公認心理師
- 研究及び臨床のフィールド；
 - ・児童福祉施設，学校・支援学校，被害者支援センター
 - ・児童相談所，児童自立支援施設，刑事施設
 - ・民間団体（一般社団法人もふもふネット）等
- 性被害へのケア 及び 性加害の治療教育に携わる
- 子どもの性の健康研究会 <http://csh-lab.com/>

子どもへの性暴力に関する現状

1 「身近で起こるわけがない」

情報の不足、不安によるバイアス、**否認**

2 「おおげさ」「そっとしておいたほうがよい」

認識の甘さ（容認）、対応への不安、**回避**

3 「元気そうだし、だいじょうぶだろう」

トラウマ反応（**過覚醒、麻痺、過剰適応**）の無理解

4 「被害児も話したがらない」「話させるのは気の毒」

トラウマ反応（**回避、再体験**）への無理解、**回避**

5 「被害は自業自得」「加害児は性犯罪者になる」

トラウマ反応（**再演**）への無理解、**偏見**

言葉にならない性被害体験

何が起きているの？

「これってふつう…？」
「なんかおかしい…」

必死で言ったのに！

「信じてもらえなかった」
「何をしてもムダ…」



どうしたらいいの？

「秘密と言われたし」
「言ったら大変なことに」

どう言えばいいの？

「…言葉にできない」
「考えるだけで苦しい」

トラウマ：恐怖、裏切り、安全・安心が損なわれる体験とその影響が長期にわたって続くこと

言葉にならない声を聴くために

性暴力とは何か？

境界線の学習

「相手の行動がルール違反」

支援体制の強化

教員・親への研修

「話してよかった」「暮らしやすい」

対処法と相談窓口

対処法の学習と練習

「おとなに知らせれば大丈夫」

日常的なこころのケア

トラウマの心理教育

「おかしくなったわけじゃない」

トラウマからの回復：**安全**な環境、**安心**できる関係性、
適切な対処法による**自己コントロール感**

性的虐待 = 子どものニーズの悪用 abuse

- 触れられることで安心する **愛着**
- 日常的に補助が必要 **世話**
- 探索行動によって学ぶ **好奇心**
- ひとりでは生きていけない **つながり**

ニーズ
育ちにおいて
不可欠なもの

グルーミング (手なづけ) : 信用の悪用

- やさしいふり
- かわいがる
- 一緒に遊ぶ
- 世話をする
- 恩を着せる (～してあげる)
- 子どもが**求めているもの**を与える
(例：関心・物・刺激・金銭 等)

脅し : パワーの悪用

- 口止め「秘密だよ」
- 「親に怒られるよ」
- 「親が悲しむよ」
- 「知られたら僕は死ぬ」

子どもは「性被害」だと認識できない ➡ 「**裏切り**」というトラウマ

■ 男の子の性被害

- ・だれにも言えない（聴いてもらえない）
- ・怒りや屈辱感による行動化（他者への攻撃・性加害）
- ・セクシュアリティやアイデンティティの混乱

■ 障がいによる脆弱性

- ・認知の特性や知的能力（言われたとおりにする）
- ・それまでの疎外・被害によるトラウマ反応
- ・リスクよりもニーズに動機づけられた行動

■ セクストーション sex+extortion（強要・強請）

- ・子どもに性的画像を送るように求めること
- ・操作（manipulation）による支配（control）



虐待・暴力 = 境界線（バウンダリー）の侵害



「わたし」の領域

「わたし」自身（自我）

「わたし」が決められる（自治）

- 境界線を侵害されると、境界線が**脆弱**になる
- 「いや」だと感じられない、感じて**仕方がない**と思う
- 境界線を破った/破られた状況を、「**親密**」と認識する
- 「**安全**」と「**安心**」の混乱（危険な行為や関係で安心する）
- 境界線が破られると**解離**し、適切な対処ができない
- 「**支配－被支配**」のトラウマティックな対人関係の**再演**

自他を傷つける性行動の背景にある子どものトラウマ

トラウマインフォームドケア (Trauma Informed Care: **TIC**)

危険はないのに【安全】が感じられない
安全ではないやり方で【安心】する
他者も自分も【信用】できない



どうして？

トラウマのメガネで
一緒にみてみよう

- トラウマについての**知識**を持ち *Realize*
- どんな**影響**を受けているか**認識**して *Recognize*
- 適切な**対応**をすることで *Respond*
- 再トラウマを**予防**！ *Resist retraumatization*

TICの4つの概念 (SAMHSA 米国保健福祉省薬物乱用・精神衛生サービス局, 2014)

見えにくい子どもの**影響**を**理解**する、大人の傷つきを**自覚**する

【まとめ】提言

- 1 子育て・教育における「暴力」に関する取り組み
 - ・威圧や操作を用いないおとなのコミュニケーション
 - ・「性的同意」の前に、子どもの「同意」を尊重する
- 2 性被害のリスクの高い子どもへの重点的ケア
 - ・社会的養護（施設・里親等）での専門的ケア
- 3 トラウマインフォームドケアによる公衆衛生アプローチ
 - ・性被害へのスティグマやおそれの軽減
 - ・親や教員などへのトラウマに関する情報周知
- 4 支援機関の人的資源・運営資金の確保
 - ・人材育成とsuper visionによる支援者支援